

# 環境方針

当社は、深刻化する大気汚染、地球温暖化を防止するため、環境保全活動を推進することが、企業の社会的責任の一つと認識し、輸送サービスの提供という事業活動から生ずる環境負荷を低減していきます。

## 基本方針

- ① 法規制を遵守し、環境保全に努めます
- ② エコドライブなど省エネルギー運動を推進します
- ③ 環境保全に関する教育、啓蒙活動を実施します
- ④ 廃棄物の適正処理、リサイクルを推進します

環境目標を定め、定期的に見直すことにより、環境保全活動の継続的な改善に努めます。

環境方針は、社内に掲示し、全ての従業員に周知させます。

平成27年4月1日

名神急送株式会社

環境保全責任者

代表取締役 高木 香恵

平成 27 年度環境年間計画表

【名神急送株式会社】

1. 現状の取組みに対する評価・課題及び目標

項目	現状に対する評価・課題	目標
環境保全のための仕組み・体制の整備	環境方針を策定し、環境保全部管理者及び推進体制を定め、従業員に対して環境関連法規制の内容を伝えている。	環境保全に関する積極的な取り組み項目を定め、管理責任者などの役割や責任権限の明確化をはかり、従業員に対して環境方針の徹底や環境に関する一般的な情報を定期的に伝える等、環境保全意識の向上への取り組みを継続し、さらなる浸透を進める。
エコドライブの実施	デジタルタコグラフにて経済的な運転(エコドライブ)ができていないか判定し、日々管理者はそれを確認・指導している。	主に温度管理が必要な商品を扱うので外気温度で燃費が左右され、アイドリングストップの実施が難しい状況ではあるが、トラック協会やトラックメーカーの行うエコドライブ講習を活用しながら各乗務員の燃費向上に努める。年間計画を作成し、講習受講者5割以上を目指す。
低公害車の導入	最新の排出ガス規制適合ディーゼル車は順次導入している。	経営面で光熱費・人件費・通行料等の経費上昇により、車両の使用年数を伸ばし競争力維持に迫られているが、中型～小型車については、ハイブリッド車等の国の定める低公害車の導入を考慮し、大気汚染防止に努める。
自動車の点検・整備	おおむね各項目ともレベル2の取り組みは実施している。	引続き取り組みを推進していく。
廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進	廃棄物処理は適正に実施している。従業員への廃棄物に関する教育も実施している。	引続き取り組みを推進していく。
管理部門(事務所)における環境保全の推進	環境教育は、現場従業員とともに実施し、エコマーク製品の購入、廃棄物分別の徹底、不要照明の消灯等は実施できているが、使用エネルギーや廃棄物の発生量の把握ができていない。	事務所内での環境保全の取り組みを推進していく。

2. 具体的な取組み内容

項目	取組み項目(何を)	目標(どの程度)	方策(どのように)	責任者(誰が)	達成時期(いつまでに)	評価
環境保全のための仕組み・体制の整備	環境意識の向上を図るため、環境方針の徹底や環境に関する一般的な情報の伝達等を定期的に行う	各支店で最低年1回の環境について取り上げる会議を行う	エコモ財団、トラック協会から、情報を入手し社員に伝達	各支店エコドライブ推進責任者	今期	
エコドライブの実施	エコドライブを効果的に進める為の教育を推進	対前年比2%の燃費向上 乗務員(社員)全員がエコドライブ講習を受講する	本社 トラックメーカー主催の講習を社内内で実施(8月) 徳島支店 トラック協会主催の講習を利用(5月・10月・2月) 香川支店 四国交通共済主催の講習を利用(9月・11月)	各支店エコドライブ推進責任者	平成28年中に	
低公害車の導入	導入目標を設定し、達成に向けて取り組んでいる。	最低1台の代替		環境保全部管理責任者。	今期	
自動車の点検・整備	フロン排出抑制法による点検整備(3ヶ月・12ヶ月)の徹底	管理者の設定・仕組みの構築	6月中に管理者会議の開催。3ヶ月点検の実施・点検簿作成。	各支店点検整備責任者	7月迄に	
廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進	廃棄物適正処理の徹底	廃棄物受渡しのエビデンス管理の徹底	6月中に管理者会議の開催。ファイル管理の実施	各支店点検整備責任者	今期中。	
管理部門(事務所)における環境保全の推進	引続き事務所内での環境保全に対する取組み強化に努める。	ゴミの排出削減。	リサイクルトナー使用推進。使用済トナーの回収徹底。社内資料作成時には両面印刷推奨。	環境保全部管理責任者。	今期中。	